

～股関節専門外来開設のお知らせ～

平成30年4月より、九州大学病院の股関節専門医師による股関節専門外来を開設しました。

【股関節・足の外科専門外来】

診療時間：月曜日 13:30～16:30（要予約）

*受診前にお電話でご相談下さい。

予約受付：平日13:30～16:30 092(621)2802（代表）

【担当医師より】

股関節は脚の付け根にある関節で、胴体と脚の間にあります。ここでは、大腿骨の丸い部分（大腿骨頭）が骨盤の受け皿の部分（臼蓋）にはまり込んでいます。関節部分の骨の表面は軟骨でおおわれ、股関節にかかる力を吸収するとともに大腿骨頭と臼蓋の動きをスムーズにしています。一言で股関節の痛みといっても、変形性股関節症、大腿骨頭壊死症をはじめ股関節唇損傷やFAI（Femoroacetabular Impingement）など診断は様々です。代表的な疾患である変形性股関節症に関してですが、原因としては子供の頃の先天性股関節脱臼の後遺症や、股関節が浅い寛骨臼（臼蓋）形成不全などが多いです。

また、加齢により股関節の軟骨がすり減ってしまうことが原因になることもあります。変形性股関節症は、なかなか症状が出てこないことがあり、股関節以外に症状が出る患者さんもたくさんおられます。

股関節症の一般的な症状は、股関節の痛み、股関節の動きの制限ですが、初期には太もも、お尻、膝などに痛みや違和感、だるさなどが現れるため、股関節の病気だと気づかないことが多いようです。

市内の大きな施設ではなく、糟屋地域周辺で治療（手術）までご希望の患者様は、お話を伺わせて頂くだけでも結構ですので、是非一度診察にお越し下さい。

また、足の外科の専門外来も併せて行っておりますのでご相談下さい。

